

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	秦野戸川公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（平塚土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	5	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として「安全、快適な利用空間の提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。	・提案した総合的な運営方針に基づき、適切に管理運営を行った。	・提案内容のとおり、総合的な運営方針に基づいて、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営に当たっての基本的な考え方	○ 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの一体的な管理運営に当たっての基本的な考え方として、「横断的な施設の管理運営体制による園内オペレーションの円滑化」「イベントの開催をはじめ両施設の連携と協力等によるサービスの充実」「一体的な管理運営による経費削減」に取り組む。	・提案した管理運営方針に基づき、適切に管理運営を行った。	・提案内容のとおり、一体的な管理運営について、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					両施設固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 両施設固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として、「丹沢の花と自然に親しむアウトドアレクリエーションパーク」をテーマに、公園、山岳スポーツセンターのほか、秦野ビジターセンター、はだの丹沢クライミングパークの4施設が一体的に連携し、全体的な魅力と機能の向上の相乗効果を発揮させ、多様で広域的な利用施設として、地域振興や地域防災などに貢献できるよう適切に管理運営を行う。	・提案した管理運営方針に基づき、適切に管理運営を行った。	・提案内容のとおり、管理運営方針に基づいて、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「年間を通じた花があふれる公園づくり」「都市近郊のアウトドア空間の魅力向上と健康増進・スポーツの振興」「広域利用の推進と地域振興の核となる施設づくり」「安全・安心な施設づくりと防災機能の充実」に取り組む。	・提案した管理運営方針に基づき、適切に管理運営を行った。	・提案内容のとおり、管理運営方針に基づいて、適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	・提案した管理運営方針に基づき、適切に管理運営を行った。	・提案内容のとおり、管理運営方針に基づいて、適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への発注の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注、高齢者の就労促進や障がい者の就労支援に資する業務もできるだけ委託をする。	・業務委託は、県内企業、特に地元の企業を積極的に選定するなど、計画どおり適切に業務を実施した。	・提案内容のとおり適切に運営している。 ・県内企業、特に地元の企業を積極的に選定していると認められ、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	一体的な管理運営による効率的な維持管理の考え方（経費節減効果を含む）	○ 公園と山岳スポーツセンターを一体的、総合的に管理し、経験豊富な公園スタッフが山岳スポーツセンターの業務等も行うことで、効率的な管理と経費節減を図る。また、広報・情報発信、イベント開催、施設案内についても両施設で連携し、利用者サービスの向上を図る。	・事業計画どおり、一体的及び効率的な管理など管理運営方針に基づき、適切に業務を実施した。	・提案内容のとおり、一体的及び効率的な管理運営方針に基づき、適切に運営しており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の特性と課題を踏まえ、秦野戸川公園では、「花修景による新しい魅力の創出」「河川敷等の安全管理と山間部特有の課題に対応した管理の実施」「利用者の安全を最優先した保守点検・修繕の実施」を行い、山岳スポーツセンターでは、「クライミングウォールの安全管理の実現」「宿泊研修棟の新型コロナウイルス感染症対策の徹底」に重点的に取り組んでいる。	・事業計画どおり、公園の特性と課題を踏まえた管理運営方針に基づき、適切に業務を実施した。	・提案内容のとおり、公園の特性と課題を踏まえた管理運営方針に基づき、適切に運営しており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 施設の老朽化に対し、県の長寿命化計画を基本に、確実な巡視と保守点検、修繕を行うことで、予防保全を基にした施設の長寿命化と利用者の安全を最優先とした効果的な維持管理を行う。 ○ 保守点検や修繕を行った場合は、県の長寿命化計画に反映させるとともに、データベースシステムに履歴として蓄積し、以後の維持管理に反映する。	・事業計画どおり、点検業務や小破修繕など実施方針に基づき、適切に業務を実施した。	・施設の老朽化が進行しているが、積極的に修繕が行われており、今後も計画的な修繕に取り組んでいくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 利用者の安全・快適な公園利用実現のため、トイレや園路、スポーツ施設の落ち葉清掃などを徹底するほか、パークセンターでのきめ細かな清掃管理による清潔感の保持などを行う。 ○ パークセンターだけでなく、茶室にもインフォメーション機能を持たせるなど、複数拠点による利用案内等を行う。 ○ パークセンター、茶室での通年の機械警備のほか、警備員による夜間警備を行う。川遊びゾーンでは、夏の水遊び期間は、毎日巡視を行い、ごみや危険物の確認と併せ、利用指導により利用者の安全を守る。	・事業計画どおり、実施方針に基づいて適切に業務を実施した。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、きめ細かな清掃管理や利用者対応を、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 「花修景による新しい魅力創出」による観光面での魅力向上、「山間部特有の課題に対応した管理の実施」による倒木、落枝対策、ヤマビル侵入防止、獣害防止や早期復旧による美観の維持、「植栽や自然環境の特性に合わせた質の高い管理の実施」による日本庭園やイングリッシュガーデンの管理、「生物の生育・生息に配慮した管理」による生物多様性の保全や関係団体等との情報交換や調整を図りながら管理を行う。	事業計画どおり実施 ・花修景による新しい魅力の創出や山間部特有の課題に対応した管理の実施など適切に実施した。	・提案内容のとおり、花修景による新しい魅力の創出や山間部特有の課題に対応した管理の実施など適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	公園の特性や利用状況(繁忙期・閑散期等)、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等(有料施設は除く)	○ 「花修景や魅力ある公園施設を満喫するイベントの実施」「アウトドアレクリエーションの充実による健康増進イベントの実施」「地域振興の核となる施設づくり(地域との連携×渋滞緩和対策)」により、閑散期の利用者増や年間を通じた利用者増に取組む。	概ね事業計画どおり実施 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止または規模を縮小しての事業実施となった。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から不特定多数が参加するイベントの中止または規模縮小による実施はやむを得ない。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ 少年野球場と多目的グラウンドの空き情報の提供による利用増加のほか、駐車場での各種カード決済や高額紙幣の使用が可能な精算機の設置、SNSを活用した利用状況のリアルタイムな情報発信、交通事業者と連携した公共交通機関の利用促進を図っていく。	事業計画どおり実施 ・少年野球場及び多目的グラウンドの「空き情報」の提供や駐車場の混雑状況についてSNSを活用してリアルタイムな情報発信を実施した。	・提案内容のとおり実施しているが、交通事業者と連携した公共交通機関の利用促進については、調整結果を踏まえ、今後、確実に取組んでいくことが望まれる。	○			
					多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○ 小田急や中日本高速道路の情報発信力の活用や市などと連携した周遊ツーリズムの促進による広域利用の推進や周遊性の拡大を図る。 ○ スマートフォン利用を想定したホームページづくりやドローン360度カメラによる臨場感あふれる動画の発信などにより、新たな公園利用者の獲得を目指す。	事業計画どおり実施 ・関係機関等と事業実施に向け、事前調整を実施した。	・提案内容のとおり実施しているが、関係者との調整結果を踏まえ、具体的な取組を進めていくことが望まれる。	○			
					公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○ 利用者の利便性向上や滞在促進のため、キッチンカー、茶室、バーベキュー場、売店などの飲食を中心としたサービス充実を図る。	事業計画どおり実施 ・キッチンカーやバーベキュー場などの自主事業を適切に実施した。	・提案内容のとおり、飲食を中心とした自主事業を適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					利用料金の設定、減免の考え方(有料施設がある場合のみ)	○ 少年野球場・多目的グラウンドは、教育機関及びその関係団体が行うことでの活動の場を広げるため、全額免除をする。 ○ 駐車場については、社会福祉法人等非営利団体が事業のために利用する場合や学校が教育活動として利用する場合、身体障がい者等が利用する場合など、ユニバーサルな対応を推進する観点から減免を行う。	・事業計画どおり実施 身体障がい者等への減免の考え方に基づき、適切に実施した。	・提案内容のとおり、減免の考え方に基づき、実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			
					両施設を一体的に運営することにより展開する、利用促進のための企画・取組	○ 秦野戸川公園と山岳スポーツセンターの他、秦野ビジターセンターも合わせた利用促進に取り組みとともに、丹沢山麓の自然の中で、「みんなで作る・登る・遊ぶ」をテーマに3館の機能を一体化したイベントを開催し、公園利用の拡大を図る。	概ね事業計画どおり実施 ・園内他施設との合同イベントを行ったが、一部のイベントは雨天により中止となった。	・提案内容のとおり合同イベントを1回実施しているが、今後は複数回行うなど、更なる公園利用の増進に繋げていくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。	事業計画どおり実施 ・「接遇マニュアル」を整備するなどホスピタリティ溢れる接客を実施した。	・利用者満足度調査(スタッフの対応)の結果は、上位2段階の評価が92.5%と高いことから、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○ 公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。	概ね事業計画どおり実施 ・公園利用者のニーズの把握と分析、改善は実施したが、潜在的利用者のニーズの把握は、未実施。	・提案内容のとおり取組んでいるが、今後は、潜在的利用者のニーズの把握を実施して、更なる新規利用者獲得を図るよう努めてもらいたい。	○			

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)					
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他			
I サービスの向上	(3)	利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 外国の方への多言語での対応に努めるほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	事業計画どおり実施 ・障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代への支援など適切に実施した。	・提案内容のとおり、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代への支援など、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
						神奈川県手話言語条例への対応	○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができて示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。	事業計画どおり実施 ・コミュニケーションボードを設置するなど適切に実施した。	・提案内容のとおり、コミュニケーションボードを設置するなど、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
	(4)	事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○ 日常の事故防止においては、想定されるリスクを事前に管理し、リスクの発生による損失を回避し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。	事業計画どおり実施 ・事故防止の体制を整備し、適切に実施した。	・提案内容のとおり、事故防止の体制を整備し、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
						樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○ 本公園は樹林や植栽地が多いことから、日常の巡視において、園路沿いや広場付近など、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じて、伐採や病虫害防除等を速やかに行う。	事業計画どおり実施 ・枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、伐採や病虫害防除等を適切に実施した。	・提案内容のとおり、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、伐採や病虫害防除等を適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り	
						事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライシスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。	事業計画どおり実施 ・事故等が発生した場合は、業務フローにより、適切に対応した。	・提案内容のとおり、事故等が発生した場合は、業務フローにより、適切に対応されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り	
						急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。	事業計画どおり実施 ・「安全管理マニュアル」に基づき、適切に実施した。	・提案内容のとおり、「安全管理マニュアル」に基づき、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
						新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 新型コロナへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	事業計画どおり実施 ・新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針に基づき、適切に実施した。	・提案内容のとおり、新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針に基づき、適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○				
	災害への対応 (事前、発生時)	5	5	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	事業計画どおり実施 ・異常気象時の対応を整備した。	・提案内容のとおり、異常気象時の対応を整備するなど、適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○						
				公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って、迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成団体の公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動体制を図る。	事業計画どおり実施 ・震災時の初動体制への対応を整備した。	・提案内容のとおり、初動体制の対応を整備するなど、適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○						
				大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 山間部にあるため、斜面崩壊やアクセス道路の通行止め、施設利用中の事故などの恐れがあるため、利用者や近隣施設と協働で防災訓練を実施するなどの連携を深め、広域避難場所までの誘導方法や帰宅困難者の受入れ体制について、市や近隣施設と調整し災害に備える。	事業計画どおり実施 ・消防署と連携した救急救命訓練、自治体などと連携した防災訓練、山岳救助隊と連携した救助訓練等を実施した。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り			
(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 現在の地域団体とのつながりを活かしつつ、秦野戸川公園利用運営会議（市・観光協会・自治会・公園活動団体等18団体で構成）において、公園利用の活性化及び自然環境の保全・再生を目的とした住民参加の公園づくり及び運営を推進し、地域に愛される利用しやすい公園としての運営を行う。	事業計画どおり実施 ・秦野市や秦野市観光協会等と連携して「公園まつり」を開催し、地域振興と公園の魅力発信したが、秦野市を代表する大規模イベント（秦野丹沢まつり山開き式、丹沢ボッカ駅伝競走大会）の受け入れと運営サポートは、新型コロナ感染症の影響により中止となった。 ・秦野市と連携し、森林セラピー基地として広報を行った。 ・「秦野戸川公園利用運営会議」を開催し、課題調整に努めた。	・規模は縮小したものの、3年振りに「公園まつり」を開催するなど、提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り		

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(5)	地域と連携した魅力ある施設づくり	5	4	ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ グループ代表が定めているボランティアとの協働の方針や、活動支援内容を盛り込んだ「公園ボランティア要綱」により、様々なボランティア団体との連携を行っており、研修会の開催や共同作業などを通じ、ボランティアの育成に繋げていく。	概ね事業計画どおり実施 ・ボランティア団体との連携に取組むなど、適切に実施した。	・提案内容のとおり、ボランティア団体との連携に取組むなど概ね適切に運営されており、今後も継続し、発展させていくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 秦野市カルチャーパークと連携したチューリップ植栽による演出の調整を進めていくほか、花菜ガーデン（平塚市）や松田山ハーブガーデン（松田町）との開花情報の交換やイベント開催チラシやポスター掲示などの連携、秦野市里山ふれあいセンターなどでの公園プログラムの紹介をする。 ○ 学校等教育機関の様々な校外活動に協力し、秦野戸川公園を学ぶ場として提供する。	概ね事業計画どおり実施 ・公園周辺施設との交流・連携に取組むなど、適切に実施した。	・提案内容のとおり、周辺施設との交流・連携に取組むなど、概ね適切に運営されており、今後も継続、充実していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 業務委託を行う場合には、今後も地域企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターや社会福祉法人、NPO 法人等の地元非営利団体への業務委託にも配慮し、地域と連携した魅力ある公園づくりを行う。	概ね事業計画どおり実施 ・県内企業、特に地元の企業を積極的に選定するなど、適切に運営した。	・県内企業、特に地元の企業を積極的に選定していると認められ、今後も継続して、地域との連携に取り組んでいくことが望まれる。	○			
III 団体の業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	5	5	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	事業計画どおり実施 ・諸規定類を整備し、適切に運営した。	・提案内容のとおり適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			
					指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取り組む。	概ね事業計画どおり実施 ・環境負荷軽減や自然環境の保全に配慮した管理運営などの取組を適切に実施した。	・提案内容のとおり概ね適切に実施されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			
					法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、神奈川県公園協会と小田急電鉄は法定雇用率を達成している。 ○ 障がい者雇用を行う企業等への積極的な業務発注を推進するため、調達方針を定め、実績を公表している。	事業計画どおり実施 ・全ての構成法人が、法定雇用率を達成した。 (公財)公園協会 2.64% 小田急電鉄(株) 3.41%	・提案内容のとおり適切に実施されており、今後も法定雇用率の達成に努めてもらいたい。	○			
					障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組む。	事業計画どおり実施 ・合理的な配慮や研修など、適切に実施した。	・提案内容のとおり、概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			
					神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	概ね事業計画どおり実施 ・コミュニケーションボードを設置した。 ・手話講習会を受講した職員による窓口案内は未実施。	・提案内容のとおり実施しているが、手話講習会などによる職員への教育を実施するなど、更なる利用環境の向上を図るよう努めてもらいたい。	○			
					社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○ 本公園では主に、「災害時の施設のポテンシャルの向上」「誰もが安全安心に楽しめる公園管理」「生物多様性に配慮した維持管理」「森林を生かした健康プログラムの提供」「地域連携の強化」「地域の情報発信による活性化」に取組む。	事業計画どおり実施 ・SDGsにおける本公園の取組について、概ね事業計画どおり適切に実施した。	・提案内容のとおり適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行した。	・提案内容のとおり適切に運営されており、今後も、重大な事故や不祥事を起こさないよう努めてもらいたい。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況					○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取組む。	事業計画どおり実施 ・個人情報保護について法や条例に基づいた「個人情報保護規程」をはじめ諸規定を整備し、個人情報の適正な保護に取組んだ。	・提案内容のとおり適切に実施しており、今後も、適正な個人情報の保護に取り組んでもらいたい。	○				

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	秦野戸川公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・小田急電鉄共同事業体
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（平塚土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
パークセンター	風の吊り橋
	
遊具(ふあふあドーム)	チューリップフェア